

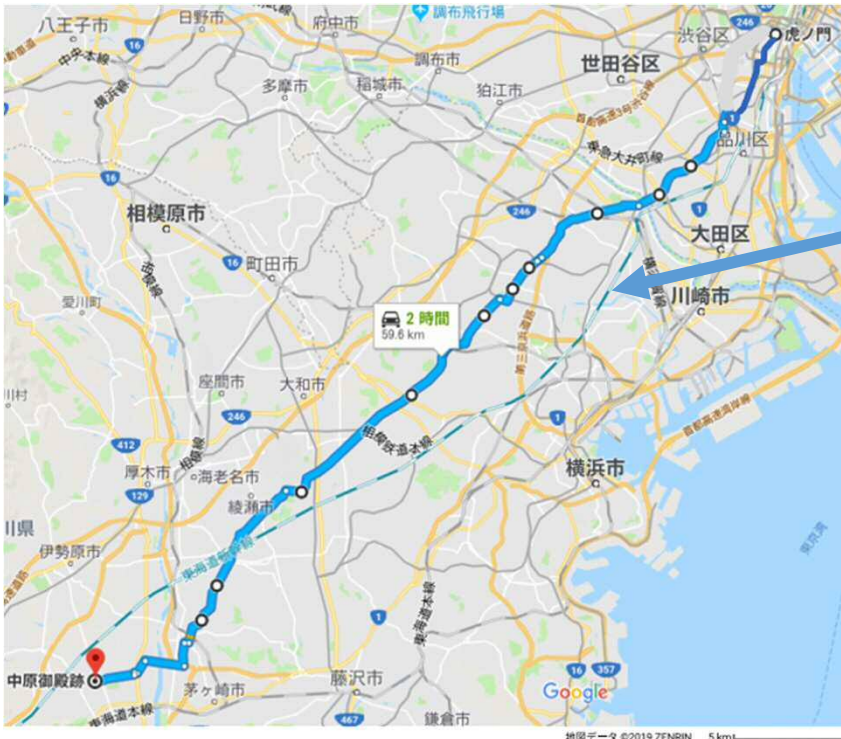
だんだん暖かくなってきました。今回は、城南地区の通勤通学の重要な道路である中原街道についてQ&A形式でご紹介したいと思います。

Q1: 中原街道ってどこからどこまでなの？

A1: 中原街道は、江戸城虎御門(現在の東京都港区虎ノ門付近)を起点とし、品川区、大田区を経て洗足池を通過します。そして丸子橋で多摩川を渡って神奈川県川崎市に入ります。その後横浜市を抜け、相模川を渡り、平塚市の中原御殿跡で終点となります。

Q2: 中原街道っていつからあったの？

A2: 中原街道は鎌倉・室町時代には成立したといわれています。その後、後北条氏(小田原北條氏)が整備し、徳川家康が江戸入りした際に利用したとされています。江戸時代に將軍の別荘として中原御殿が立てられ、その後中原街道と呼ばれるようになりました。



カーブが少ないのは、後北条氏が整備する際に狼煙をあげ、それを目印に道を切り開いていったからといわれています。そのため、最短ルートとして商人などに親しまれたそうです。

Q3: 中原街道の見どころは？

A3: やはり何といっても桜坂だと思います(品川区ではないのですが)。桜坂は、丸子橋手前の旧中原街道に位置します。桜坂の坂上からは、武蔵小杉の高層マンションを望むことができます。他には、品川区の戸越銀座・武蔵小山・旗の台などの一流商店街が並んでいます。洗足池でのお花見も外せませんね！

Q4: 他に特徴は？

A4: 中原街道沿線には、清泉女子大学・立正大学・星薬科大学・昭和大学などの品川区の主な大学が並んでいます。また、大地震が起きた際には、中原街道(国道1号線・都道2号線など)は第1次緊急輸送道路として緊急車両等の通路に指定されています(ほかにも一般国道や幹線道路、首都高などもふくまれます)。

中原街道の紹介でした！私は、五反田駅から、洗足池まで歩いたことがあります。中原街道を探索するぞ！という目的ではなかったのですが、期せずしてその歴史や商店街の賑わい、雰囲気を楽しむことができました。みなさんも良かったら「街ぶら」楽しんでみてください！